

**PR** BASICS

日本語版 Trial Version

PR ベーシック ( 広報活動の基本 )

## 広報活動の目的

### 広報活動はなぜ NA メンバーにとって大切なのか

ナルコティクス・アノニマスのメッセージは、「アディクトであれば、どんなアディクトであっても、薬物を使うのをやめることができ、使いたいという欲求も消え、新しい生き方を見いだすことができる」というものである。広報活動を行えば、このメッセージはより広い範囲で共有され、私たちの回復プログラムを必要とするより多くの人にその内容を知らせることができる。私たちは、NAプログラムの知名度と信頼性を高めるために広報活動を行っている。また、メンバーになりえる人や専門家、社会とこのメッセージをオープンに共有することが大切である。オープンな姿勢を保ち、真摯に努力を続ければ、フェロシップ以外の人と新たな連携を築くことができ、その関係は常に改善されていく。献身的な関係を維持することで、私たちの第一の目的はおのずと果たされていく。私たちのステップ、伝統や概念のスピリチュアルな原理に従って広報活動を行えば、NAの一般的なイメージは向上し、評価も高まる。この原理は、私たちのコミュニティとサービスのあり方を方向づけると共に、メンバー一人一人の生き方の指針にもなるだろう。

### 専門家と社会に伝えていく

(社会に NA のことを紹介するとき、下記の説明文を使用してください)

ナルコティクス アノニマスは、地域に根ざした活動を行っている団体です。全世界にメンバーがおり、多言語かつ多文化に適応した活動を行っています。NA は 1953 年に設立され、設立当初から 20 年間はメンバー数に伸び悩みました。しかし、1983 年に『ベーシックテキスト』の文献が発行されると、それをきっかけにメンバーとミーティングの数が劇的に増えました。現在、131 カ国で週に 58,000 以上のミーティングが開かれています。定期的にミーティングに参加し、私たちが提供する 12 ステップのプログラムを実践すれば、依存症から回復することが可能です。同じ回復途上の依存症者が集まれば、メンバー同士は助け合い、お互いを継続的に支援することができます。NA を通じて薬物抜き的人生が歩めるでしょう。

私たちの名前であるナルコティクス アノニマスを直訳すると「薬物・匿名」という意味になりますが、決して特定の薬物だけに焦点を合わせている訳ではありません。NA では、アルコールを含むどのような薬物も同じであると考えています。メンバーになるための費用は一切かかりません。また、私たちはあらゆる政府機関、宗教団体、警察や精神科を含む医療機関など、他の組織とは一切提携を結んでいません。依存症者の手助けをしたいと思う人と手を取り合い、世界中の依存症者に回復のメッセージが届き、それぞれの母国語と文化に適応したサービスが行き届くまで、この活動を続けたいと思っています。



## スピリチュアルな原理に基づいた広報活動を実施

私たちはステップワーク、伝統やNAの概念について学び、それらの原理を自身の生活やサービス活動に実践して生きてきた。これらの原理は、私たちがと関わりのあるNA以外の人や団体との関係の中でも実践されるべきである。

### 互いを尊重し合うこと

私たちは、外部の団体や地域にNAの回復プログラムや伝統に関する情報を提供し、交流をはかるべきである。また、外部の団体の目的や価値観を知り、その伝え方を同時に学ぶべきである。

### 信頼できる団体であり続ける

私たちは伝統と概念に記された原理を常に守り、行動すべきである。私たちの第一の目的は、いまなお苦しむ仲間メッセージを運ぶことだ。これを念頭に置きながら行動し、地域と交流をはかることが大切である。そうすれば、私たちの誠実さと一貫したメッセージが伝わり、NAの信頼性が高まる。

### 柔軟性を持つ

私たちと協力関係にある団体には、時に私たちの要望に合わせて柔軟に対応してもらう必要がある。逆の場合、私たちも同じように柔

軟に対応すべきである。彼らの要望に耳を傾け、NAの基本原則をふまえた上で、それらの要望に応えられるかどうかを判断するべきである。要望によっては、より経験のあるNAのサービス機構にその内容を相談し、進めることがよいだろう。

### 一貫性を保つ

より広い地域にサービスを提供する際、私たちは常に正確な情報を提供することを心がけ、継続的なコミュニケーションを保つ必要がある。周りの団体との連携がしっかりしていれば、より長期間この回復のメッセージを運ぶことができる。

## 広報活動：アディクトがNAを知るきっかけ

周りとの関係を大切にすることで広報活動は充実していく。これは、フェローシップ内での関係だけに限らず、一般市民、警察や依存症治療にあたる専門家との関係にも当てはまることである。これらの関係を通じて、今なお苦しむ仲間メッセージを運ぶことができれば、私たちの主要目的は果たされていく。これを達成するには、地域にNA

このフェローシップを通して、世界中で何千人ものメンバーの人生が変わった。その鍵となっているのが団結力である。

『なぜ どのように効果があるのか』

が知れ渡り、私たちの活動が社会に認められなければならない。NAに対して肯定的な専門家がふえれば、彼らを通してより多くの依



存症者がこのプログラムにたどり着くことができる。メンバー同士が互いに尊敬と愛情の念を持って接するように、私たちはフェロー

シップ以外の人ともそう接するべきである。このプログラムを通して、私たちはステップとその原理を毎日の生活に当てはめていくことを学んできた。そこで身につけた正直さ、心を開くこと、そしてやる気を周りの人との関係にあてはめることができれば、私たちはあらゆる人に敬意を持ちながら接し、相手に対して親切でいられる。この姿勢こそ、今なお苦しんでいる仲間に対するポジティブかつ力強いメッセージとなる。

## 私たちの伝統とサービス

ミーティング会場で、「伝統にそって行動するべきだ」と話す仲間は少なくない。もちろん、伝統にそった行動をするべきではあるが、伝統をどのように解釈するのは自由である。ある程度の期間NAのサービスに携わったことがあるメンバーは、メンバー同士が伝統に関して激しく議論している場面に出くわしたことがあるだろう。片方は、「それは伝統に反する行為だ」と言い張り、もう片方は断固と否定をしている。サービスを行う中でどのように伝統を使うべきか、その考え方は

メンバーによって異なる。NAの原理に忠実であるためには、グループの意識を統一することが大切だ。グループやコミティで広報活動を行う際、下記の項目をふまえて12の伝統を見直すとよい。

『広報活動のハンドブック』第2章や他の関連文献に、どのように12の伝統を広報活動に適用するべきかより詳しく書かれている。また、伝統に関して話し合う場合、『なぜ どのように効果があるのか』も良い参考資料である。あなたのコミティがこのような問題に直面した場合、グループ意識を重んじてこれらの事柄に取り組むことをおすすめする。NAの原理にそった判断を下すためには、あらかじめオープンに話し合うことが大切である。

### 「広報活動自体、やっていいものなの？」

伝統11に「私たちの広報活動は宣伝により促進することよりも、ひきつける魅力に基づく。」と明記されている。この言葉通り、広報活動自体は行ってもよい。広報活動を通じて、関係を築くことができる。この努力を怠らなければ、NAは魅力的であり続ける。地域での知名度が高まり、結末が深まれば、より多くのアディクトがNAと出会える。私たちは広報活動を行うが、宣伝はするべきではない。

### 「宣伝って何？」

『なぜ どのように効果があるのか』では、宣伝とは「おおげさで派手な広告や有名人によるお墨付きであるといううたい文句」を掲げることであると書かれている。広報活動の役割は、一般市民に向けてこの回復のプログラムに関する情報を確実に提供することだけである。ひきつける魅力があると言われるため

には、まず NA が知られる必要がある。私たちの存在が認知されない限り、苦しんでいる仲間にメッセージは届かない。

## 自立と公共広告

公共広告をきっかけに、周りの地域住民と協力関係を築くことができる。他のビジネスや公共団体は、自身のサービスを慈善団体などに提供することで地域と密接な関係を築き上げている。このような組織と協力し合うことは、私たちにとって大切である。彼らとチーム体制を組めば、その重要性を示すことができる。だが、私たちは決して他の組織に加入する訳でも、提携を結ぶ訳でもない。このような関わりを持ち始める際、協力し合う心を大切にすることが重要である。



## 「広報活動によって私たちの匿名性って失われないの？」

伝統 11 を思い出してみよう。「活字、電波、映像の分野で（インターネットも含む）、私たちはいつも個人名を伏せる必要がある。」伝統 12 では、匿名性に関して「各個人よりも NA の原理が優先すべき」と書かれている。NA の中で、私たちはみんな平等である。NA のあらゆるサービス活動は、地域社会との交流が不可欠である。

“自立とは、NA 自体の経済的責任を負うことだけでなく、社会に私たちのプログラムに関する情報を提供し、同じ目標を掲げた仲間と有意義な関係を築くことを意味する。”『広報活動ハンドブック、第 2 章』

## 「自立って、外部からの支援を断つという意味でしょう？」

伝統 7 に従っていれば、NA の自立性は保たれる。私たちは決して一般の方からお金を集めたりはしない。外部から影響されないよう、また、サービス活動とメッセージを守るためには、これが不可欠である。世の中には、NA 以外の非営利団体が多く存在する。このような団体を対象に、オープンスペースが安く貸し出されたり、公共広告を作るための費用が安くなったりする場合がある。こういった提案をされた場合、ありがたく受け入れよう。だが、私たちだけが特別扱いされないように心がけることが大事だ。そうすれば、私たちの自立性は守られる。

## 「他の組織と提携を結んではダメ！」

その通り！しかし、提携を結ぶことと協力し合うことは、大きく異なる。提携を結ぶことは、相手の組織に加入することを意味する。私たちは、違う組織とそのような提携を結ぶことを目的とはしておらず、周りの団体と協力し合い、関係を深めることを重要視している。お互いにとってプラスになるよう関係を築き上げることが大切である。私たちの行動指針は NA の原理に基づいているが、周りの組織はそうとは限らない。これを考慮しながら、周りとは協力し合うべきである。

## 活動を開始する

NAは多方面から、「話を聞きたい」と頼まれることがある。新たなプロジェクトを始める前に、今一度見つめ直そう。なぜ私たちはこのNAサービスを実施しようとしているのか？進めるのであれば、何をすべきであるか？また、どのように進めるべきか？サービス活動の方法一つで、私たちのフェロシップのあり方と外部からの見られ方は大きく変わる。私たちの目的は、世界中の依存症者にこの回復のメッセージを届け、それぞれの母国語と文化に適応したサービスが提供されることである。この思いをより多くの人に伝えていくのが、広報活動である。

このサービスのことをより多くの人に知ってもらうために、「広報活動の目的」と題した文章が作成された。それは、NAのメンバーに向けて書かれたものと、専門家・一般市民に向けられた文章との2部に別れている。NAは依存症者にとって、魅力的な選択肢であり続ける必要がある。このことをアピールしながら、私たちは広報活動を行うべきだ。

- 地域住民にNAの広報活動を行う際、私たちがどのようなサービスが提供でき、逆に何ができないかをハッキリと伝える。
- NAの一般イメージはメンバーにかかっている。個人個人の役割が何であるか、メンバー自身に伝える。

- NAが信頼できる、前向きな団体であると社会に認知してもらう努力をする。
- 専門家や一般の人たちと、良い関係を築いていく。

広報活動の主要目的は、ナルコティクス・アノニマスの活動を忠実に伝え、今なお苦しむアディクトに提供できるプログラムを紹介することである。一般市民の前では、匿名性を重んじるべきである。伝統に基づき、私たちは各個人よりもNAの原理を優先すべきである。



## PI コミティ・広報 (PR) コミティの役割とは？

私たちの多くは、PI コミティの活動を通じて初めてNAを知った。緊急入院をした際、病棟でNAのパンフレットやミーティングのスケジュール表を手にした人、電話帳でNAの広告を見かけた人、あるいは、大学のキャンパス内でNAのポスターが貼られていて、そこでNAのホットラインを目にした人もいるはずだ。これらはすべて、PI コミティの努力の賜物である。PI コミティ・広報 (PR) コミティは、このようにして地域に貢献している。回復のメッセージを社会と分かち合うことで、多くの人にポジティブな影響を与えることができる。



## 広報とは？

PI コミティの一員でいると、苦しんでいるアディクトが実際にフェロシップにつながる場面を目の当たりにすることがある。その瞬間、全ての努力が報われ、言葉で言い表せない程の喜びが味わえる。ナルコティクス・アノニマスの広報活動は年数を重ねて、自然と進化してきた。多くのPI コミティは、「広報部」と改名している。「広報」は英語で「パブリック・リレーションズ」といい、直訳すると「社会との関係」という意味を持つ。その言葉どおり、社会との関係を結び、互いが支え合って成長できるよう、思いを込めて改名している。

ごく最近まで、私たちのプログラムの知名度は低かった。当初、広報活動は単に私たちのプログラムを社会に知ってもらい、その目的を知らせる手段でしかなかった。フェロシップ

私たちのフェロシップは各個人を優先するのではなく、スピリチュアルな原理に基づいている。伝統12で使われている「アノニミティ（無名）」という言葉は、このような無我の理念を表すものである。『なぜ どのように効果があるのか』

として成長を遂げた今、提供できるサービス内容も一段と増えた。また、まだ苦しむアディ

クトにこのメッセージを運ぶためには、よりいっそう社会の協力が必要であることを知った。広報活動を通じて、依存症と回復に関する社会の意識を高める必要がある。

## NA メンバーとしての責任

NA の情報提供の方法はさまざまだ。地域から依頼があった場合、PI コミティはどんなサービスで対応すればよいかを判断しながら、回復のメッセージを運ぶべきである。その依頼の多くは、NA のプレゼンテーションをして欲しいというものやNA の情報が記載されたパンフレットが欲しいというものだ。要望が寄せられたら、PI・広報(PR) コミティはその内容を一度見直し、必要なものが何であるかを見極めてから応じるべきである。

また、見過ごされがちではあるが、NA メンバー一人一人の行動も一種の広報活動である。私たちのプログラムになじみがない人からすると、コミティの一員も普通のメンバーも変わらない。私たちは全員、NA の代表者として見られている可能性がある。NA 全体の評価は、ミーティング会場やイベント会場での私たちの行動によって決まる。

## 広報活動の進め方

個人、団体、メディアなどから NA に関する

質問が個人のメンバーに寄せられた場合、PI コミティ・広報 (PR) コミティと相談しながら進めると良い。情報を提供する手段はいくつかある。

1. 治療施設、市民団体、学校やメディアに向けて、プレゼンテーションを行う。
2. ポスターやちらしなどを配布し、地域の広告板を利用して NA の連絡先を一般の方に知らせる。
3. 地域の専門家や一般市民に向けて、定期的にセミナーを開く。また、メンバーに向けたワークショップを開催して、NA サービスに関する教育やトレーニングを行う。
4. 依存症者と関わりを持っていそうな方には、あらかじめウェブサイト関連の情報、全国 NA のミーティングリストやパンフレットなどを渡しておく。
5. NA のホットライン (電話サービス) や H&I コミティは、地域と関わっていることが多い。同じ案件に関して問い合わせがきた場合、それらのコミティと協力しながら要望に答える。もし、NA のホットラインがない場合、PI コミティがその役割をになうとよい。

### 無名にとどまることの重要性

マスコミと関わる場合、私たちは極力自分が NA のメンバーであることを明かさないようにすべきである。また、一般の人たちの前では個人名を伏せる必要がある。外部の組織と打ち合せを行うときも、現場に 1 人で行かないことが原則である。メディアを活用して広報活動を行うことは問題ないが、しっかりと伝統 11 をふまえて回復のメッセージを運

全員がその企画の最終目的を把握し、各々が自身の役割を理解することが必要不可欠である。

ぶことが不可欠である。NA と関係にある人中には、当事者ではなくとも NA の現状をよく把握している人がい

る。彼らは、個人名を伏せる必要がないため、状況に応じて広報活動に参加してもらうことも一つの手段として考えられる。どんな広報手段を選んだとしても、私たちはその選択と結果を各サービスコミティやサブコミティに報告する義務がある。

また、私たちは NA の伝統を熟知しているが、その内容を社会に理解してもらうよう押し付けることはできない。個人のメンバーやグループの意見が、NA 全体を代表するものではないこ



とを彼らに十分理解してもらいながら広報活動を行うべきである。そのためには、2 人組みや数人で広報活動に参加することが大切だ。

### 広報活動に参加したいメンバー

興味があるメンバーは誰でも PI コミティ・広報 (PR) コミティに参加し、役割を持つことができる。あなたのアイデア、提案や感想は私たちにとても貴重である。ぜひ一度、PI コミティの集まりに参加してみよう。





## プランニングの基礎

効率よくメッセージを運ぶと、より多くのアディクトが私たちの回復プログラムを体験することができる。これを実現するためには、綿密な企画が必要となる。企画がしっかりとあれば、効果的にNAのサービスを提供することができる。サービスを成功させるためには、全員がその企画の最終目的を把握し、それぞれが自身の役割を理解するということが必要不可欠である。各エリアは、そのエリアで必要とされているサービスが何であるか、また、それを実行するための資源（資金と人材）がそろっているかどうかを考慮すべきである。それらをふまえて、下記の提案を参考にするとよい。以下の提案の他に、『広報活動のハンドブック』第3章にさらなる情報が記載されている。

### 現在のサービス活動内容を調べる

エリア内でどのようなサービス活動が行われているかを調査すれば、どのサービスが効果的に機能していて、どのサービスを改善しなければならぬかが見えてくる。また、効果的に機能しているサービスから学び、そうでないサービスを改善していくことも可能となる。

## NAを必要としている地域はどこであるかを調べる

エリアを通して、回復のメッセージを必要としている人がどこにいるかを調査する。NAの電話サービス（ホットライン）を利用した人は、いったいどこから電話をかけてきているのか。この連絡網を使うのも、調査手段の一つとなる。メンバーとなりえる人や、そのような人と関係を持っている人が地域に住んでいれば、この調査を通じて彼らを特定し、回復のメッセージを届けることが可能となる。この最終目的こそが大切なのだ。

ポスターや広告板、  
公共広告などは  
非常に効果的である。  
NAがどのようなものであり、  
どのようなものでないか、  
正確な情報を伝えることが大切だ。

### 優先順位をつける

優先順位をつけるということは、NAにとってどのサービスが一番必要であるかを見極めるということである。グループのメンバーを集めて、この議題について話し合うことも有意義だろう。各コミティの意見だけをサービスに反映させるのではなく、多くのメンバーの意見を参考にすれば、よりその地域に合ったサービスが提供できる。

## 資源の有無を調べる

ここでいう「資源」は、二つの意味を持つ。一つは資金である。エリアがどれだけのお金をサービス活動にあてられるかを把握するのは大切なことである。これを通じて、提供できるサービス内容が明確になる。資源のもう一つの意味は、人材である。メンバーによって、クリーntimeやサービス活動の経験値は異なる。この多様性を活用すれば、サービス活動が充実する。

## 行動に移す

さまざまな調査を行うことで、サービス活動の現状と問題点が明確になる。至らない部分は改善し、変えていく。これを機会にサービスの提供体制を見直し、より効果的にサービス活動を提供すれば、より多くのアディクトへ希望のメッセージが届けられる。

## 地域に向けた広報活動

### 治療施設と専門外来クリニック

2009年にNAWS（ナルコティクス アノニマス ワールドサービス）メンバーシップが行ったアンケートによると、メンバーの50%は薬

私たちは、先方に最新の  
ミーティングスケジュールや文献  
を提供し、  
プログラムの理解をうながす。  
そして、彼らの手を通じて新たな  
アディクトに  
その情報が伝わっていく。

物依存症治療  
機関にすすめ  
られて初めて  
NA ミーティ  
ングに参加し  
ている。私  
たちのメッ  
セージをアディクトに確実に届けるためには、  
このような治療施設と関係を築き維持してい  
くことが不可欠のようだ。依存症治療の専門  
家は、すでにNAプログラムに親しみを持って  
いる可能性が高い。だが、さらなる情報を

提供し、文献や最新のミーティングスケジュールを送ることで彼らの関心をより高めることができる。その際、NAが非営利団体であり、メンバーになるための条件はなく、入会金や会費もかからないということを伝えるべきである。NAメンバーとして12の伝統を守ることは大切だが、外部の組織はこのプログラムのガイドラインに従う必要はない。これを十分に理解した上で広報活動は行われるべきである。外部の専門家と継続的な協力関係を結べるかどうかは、サービスを託されたメンバーの段取りにかかっている。緻密なプランニングと明確な目標設定を行っていれば、より実り多い関係が築ける。

## 刑事司法

外部に向けて広報活動を行う際、地域と密着した関係を築くことが重要である。刑事司法分野の中でアディクトと関わり



を持っている人や機関は、薬物事件に関わる裁判所や警察、保護観察官などが挙げられる。このような専門家と関係を築き、その関係を維持していくことが大切である。彼らに話を持ちかける際、私たちはその伝達役を慎重に選ぶべきである。前向きかつ適切な対応ができるメンバーにこのサービスを託すことが好ましい。また、私たちのサービスを主張するだけではなく、相手の取り組み方を尊重できるメンバーを選ぶことも大切だ。私たちは、先方に最新のミーティングスケジュールや文献を提供し、プログラムの理解をうながす。そして、彼らの手を通じて新たなアディクトにその情報が伝わっていく。1つの機関と関係が確立したら、定期的に訪問することを心

がけよう。継続的に連携を結び、先方からの質問などに備えて、迅速に対応できる体制を整えておく。私たちのH&I コミティは常に会議を行い、施設や刑務所内にもメッセージを運べるよう努力をしている。多くの場合、このような施設にいるアディクト達は外のミーティングに足を運べない状態にある。機関内でのミーティングを実現するためには、まず、このような刑事司法の専門家にNAの存在を認めてもらうことが不可欠だ。

### 医療機関

私たちのメンバーの多くは、医療専門家にすすめられてNAとの出会いを果たしている。地域の診療所や緊急治療室がある病院など、私たちがNAのプログラムを医療関係者に伝えられる場所は多い。当たり前だが、彼らは医学を専門としている人たちである。患者の病状を重視しながら、その病気を探り、患者のケアに努めている。このことから、私たちが彼らに情報提供をする際、NAが断薬を基本とした回復プログラムであると説明することが有効だ。アルコールを含む全ての薬物を完全に断つという私たちのプログラムの理念を理解してもらうには、文献などを利用するとよい。私たちにあってアディクションは病気であり、それが身体的、感情的、そしてスピリチュアルにも悪影響を及ぼすものであると説明する。定期的なミーティング参加と仲間同士の支援がこのプログラムの基盤となっている。このことを医療関係者に伝えていけば、NAに対する理解がより深まる。さらに、ミーティングスケジュールやホットラインの番号を教えることで、このプログラムを必要とする人に確実にメッセージを運ぶことができる。

## PR プレゼンテーションを計画する

### どこで？

私たちは、学校の職員、医療機関、社会福祉事務所や治療施設からNAに関する情報を求められることが多い。このような場合、プロ



グラムの基本的な情報を紹介した手紙を作成するとよい。外部の団体と効果的にコミュニケーション

をはかるさらなる手段として、地域のイベントや医療・健康に関するセミナーなどで専用のブースを設置し、NAの情報を提供するのも有効である。これを通じて、アディクトと関わりのある機関と関係を築くことができ、将来的にプレゼンテーションを依頼される機会が増える。

### なぜ？

NA プレゼンテーションの目的は一つである。それは、ナルコティクス アノニマスの回復プログラムをその場の人たちに紹介し、理解を深めることだ。また、プレゼンテーションを通じて、NAが地域社会に貢献できる団体であると認知してもらい、信頼性を高めることが大切である。入念に準備を行えば、プレゼンテーションは優れた広報手段となり、私たちの第一の目的はおのずと果たされていく。

### 誰が誰に？

プレゼンテーションを計画する際、考慮すべき点がいくつかある。誰に向けてプレゼンテーションを行うのか？事前にどのような人が参

加するのか、また、その方たちはどのようなことに関心があるかを調査するとよい。それを基にプレゼンテーションを作成すれば、より効果が見込める。次に、誰がプレゼンテーションを行うか慎重に選ぶべきである。サービスを託せるメンバーは何人いるか、また、彼らの経験値を考慮しよう。NA サービスに関する知識があれば、アディクトでない方をプレゼンターとして起用することも考えられる。彼らと協力してプレゼンテーションを行えば、私たちの匿名性が守られる場合がある。また、専門家が集うイベントでは、彼らの力を借りて聞き手に訴えかけるとより有効的になる可能性がある。

## 何を？

どのような人たちにプレゼンテーションを行うか特定できたら、どんな伝達手段が最善であるかを考慮するべきだ。ポスターや広告板、公共広告などは非常に効果的である。NAが



どういうものであり、どういうものでないか、正確な情報を伝えることが大切だ。専用ブースや集会などでは、NAの歴史と発展に関する文章を簡潔にまとめ、紹介するとより理解をうながすことができる。また、回復のプログラムの中で私たちがどのようにステップと伝統を役立てているかを説明することも大切だ。

## いつ？

参加者が参加しやすい日程と時間帯を考慮して、プレゼンテーションをスケジュールする。

## どのように？

プレゼンテーションは、段取りが非常に大切である。時間をかけてプレゼンテーションを計画し、しっかりと練習を行うことが大切である。時間を費やせば費やしたほど、プレゼンターもその内容に慣れることができ、与えられた時間枠を十分に活用することができる。また、それぞれの参加者に合わせて、なじみのある言葉や言い回しを使用しよう。資料やアンケートなどを配布する場合、その中でも一貫した言葉づかいを心がける。プレゼンターに無理がないよう、十分な準備期間を確保しよう。

『広報活動のハンドブック』第4章にプレゼンテーションの計画や訓練に関するさらなる情報が記載されている。NAを紹介する手紙やプレゼンテーション形式の参考例がそこに含まれている。

## 私たちのメッセージを 伝えていく！

私たちの生活はメディアの情報であふれている。地域のニーズとNAコミュニティの資源の有無が把握できたら、新聞、インターネット、テレビ、ラジオ、地域の広告板などを活用して、今なお苦しむアディクトにNAの回復のメッセージを運ぼう。

## 誰に向けて広報活動を行っているのか？

メディアを活用すれば、地域やメンバーになりえる人に効率よくNAの情報を提供することができる。だが、計画段階でいくつかの点を考慮するべきだ。住んでいる地域の特徴を思い出し、どのような形での広報活動を行えば一番アディクトの目にとまるかを考えよう。もし、公共交通を利用する地域住民が多いのであれば、バス停や駅などに広告を貼るとよい。見た人が興味をもつような広告内容を作成し、明解かつ分かりやすい表現でプログラムを紹介する。これらふまえながらPR活動を行えば、より効果が高まる。

## メディアキャンペーンを実施するための資源はそろっているのか？

周りのコミュニティにNAの情報を紹介する際、活動にあてられる資金がいくらあるのか、サービスを託せる人材はどれだけいるのかを事前に把握しておこう。どのようなメディア形式を活用するかによって、その費用は異なってくる。サービスコミュニティに見合った金額とサービス形式を見極めながら、活動を進めることが大切である。市民が主体となって制作しているテレビ放送（ローカル・テレビ）や公共広告などは、無料で実現できる場合が多い。このような手段を活用すれば、効率よく社会にNAの宣伝ができる。また、近隣の



エリアなどと相談し、合同でメディアキャンペーンを企画することも一つの方法手である。必要経費を折半できる上、そのキャンペーン

がもたらす実りを互いに分かち合うことができる。近隣エリアだけに限らず、リージョンからサポートを受けることも考えられる。そのつながりを通じて活用できる資源はおおいに活用し、自身のコミュニティの広報活動を前進させよう。

## 望ましい結果

とは・・・

メディアを活用して広報活動を行った場合、事前

にやらなければならないことがいくつかある。各グループと電話相談のサービスコミュニティに広報活動の現状を随時報告すること。メディアを活用した広報だけに限ったことではないが、広報を実施すれば、電話相談の件数が増え、ミーティングに訪れる参加者の数も増える。この変化に備えて、グループやコミュニティは準備をする必要があるので、緻密かつ謙虚な態度でプランニングに取り組むことが大切だ。そうすれば、私たちの広報活動を通じてより多くの方がNAにひきつけられ、私たちの第一の目的が果たされていく。

伝統11に記されているように、私たち一人一人の立場と意見は平等である。誰か一人が優先されることは決して無い。そのため、外部の組織と接触する場合、単独行動は避けるべきだ。NAでの回復の体験をインタビューしたいという要望があった場合、サービスコミュニティに相談をし、サービス経験が多い

メンバーのサポートを求めることが望ましい。プレゼンテーションを行う場合、コミティの他のメンバーとよく相談し、しっかりと計画し、練習を必ずすること。また、サービス機構やサブコミティに報告をすることが大切である。最後に、一般社会に私たちの伝統や概念を押し付けることはできない。個人のメンバーやグループの意見が、NA全体を代表するものではないことも彼らに十分理解してもらうことが非常に大切である。

綿密な計画性、地域のニーズを把握すること、そして、回復の原理をサービス活動で使うこと。これらを忘れなければ、メディアは優れた広報手段となる。そして、この活動を通じて、私たちは今なお苦しむアディクトにメッセージを運ぶことができる。

メディアを活用した広報活動は『広報活動のハンドブック』第5章により詳しく書かれている。計画に役立つもの、また、その参考例がその章に記載されている。

ナルコティクス・アノニマスは、世界中のアディクトに回復のチャンスを提供している。特定の薬物にとらわれることなく、私たちは依存症という病気に焦点を合わせて活動をしている。社会階級がなんであろうと、国籍がどこであろうと、アディクトであれば私たちのメッセージ必ず役に立つ。初めてミーティングに参加したメンバーに唯一求めることは、薬物の使用をやめたいという願望だけである。また、私たちの目的はそのアディクトに手を差し伸べることだけである。

## MEMO

Български

Bahasa Melayu

Eesti

Nederlands

मराठी

தமிழ்

বাংলা

Türkçe

Latviešu

Slovenčina

Українській

Moldoveneasca

English

Suomalainen  
नेपाली  
Bosanski

Íslenska

## NA サービスの展望

中文

ナルコティクス アノニマスの全ての活動は  
私たちの第一の目的に基づいている。

この共通意識で私たちのグループは結ばれている。

عربي

日本語

私たちの展望：いつの日か・・・

ಕನ್ನಡ

世界中のアディクトが、それぞれの母国語と文化に適応した形  
でこのメッセージを受け取ることができ、新しい生き方が見い  
だせるように。

Afrikaans

回復を手にしたメンバーが、サービスを通じてスピリチュアル  
に成長し、充実感を得られるように。

עברית

世界中の NA サービス機構が常に協力し合い、一体性を重んじ  
て、グループのメッセージ活動をサポートするように。

Anglicized  
हिन्दी

世界中でナルコティクス・アノニマスの活動と回復プログラム  
が認められ、人の役に立つように。

hrvatski

私たちのサービスは、正直さ、信頼と善意に基づいている。  
すべては愛なるハイヤーパワーに導かれて。

Polski

فارسی

Dansk

Slovak

Français

Svenska

ਪੰਜਾਬੀ

Norsk

Русский

Magyar

Filipino

Deutsch

Brasileiro

Ελληνικά

Español

اردو

Italiano


মনপুরা

Bahasa Indonesia

Malti

ภาษาไทย

Swahili



Copyright © 2010 by  
Narcotics Anonymous World Services, Inc.  
All rights reserved.

**World Service Office**  
PO Box 9999  
Van Nuys, CA 91409 USA  
TEL (818) 773-9999  
FAX (818) 700-0700  
WEB [www.na.org](http://www.na.org)

**World Service Office—Canada**  
Mississauga, Ontario



**World Service Office—Europe**  
Brussels, Belgium  
TEL +32/2/646-6012  
WEB [www.na.org](http://www.na.org)

**World Service Office—Iran**  
Tehran, Iran  
TEL +021/2207 7295  
WEB [www.na-iran.org](http://www.na-iran.org)



This is Board-approved service material.

---

Narcotics Anonymous, , , and The NA Way are registered trademarks of  
Narcotics Anonymous World Services, Incorporated.

ISBN 9781557768377 • 12/10  
WSO Catalog Item No. 2102B